

■8 広報活動に関する事項

少子化による18歳人口の減少等により、大学を取り巻く環境は年々厳しくなっており、大学広報の役割は一層重要になってきている。こうした状況の中、本学は、第4次長期計画において「広報機能の充実強化」を重点課題のひとつとして掲げ、様々なステークホルダーに対して大学の情報を積極的に発信し、ブランドイメージの向上に努めてきた。

本学では2006年度に大学の広報活動に係る基本方針を取りまとめるとともに、本方針に基づいて、学生広報スタッフの整備や、対象者別広報誌の発行、マスコミとの関係強化など様々な施策を講じ、全学的な広報活動の強化に取り組んでいる。しかしながら、学外機関によるブランド力調査やイメージ調査などにおいて、十分な成果を出しているとは言い難い状況にある。

2009年度は、本学の創立370周年に当たる年であることから、全学一体となった積極的な広報活動を展開するため、大学広報に対する学内教職員の参画・協力を求めるとともに広報マインドの醸成に努め、記念事業をはじめとする学内情報の質的・量的拡大を図り、情報発信の好循環システムの創造を目指す。こうした取り組みを通じて、メディアへの露出を高め、本学関係者の帰属意識を喚起するとともに、本学の周年事業の訴求に努め、「龍谷大学」の社会的認知度を高めていく。

●対象メディアの拡大と重点化

今年度は370周年記念事業と本学が取り組む教育・研究活動の中で特色ある事業を重点的に発信する。対象メディアについても、従来の概念にとらわれず、地元はもとより、大阪や首都圏まで対象を広げ、広く本学の情報を発信し、大学の認知度向上を図る。

●報道機関・記者との接点の拡大とネットワーク強化

本学は、高い公共性と社会性を有する高等教育機関として、社会的責任を果たす義務を有している。マスメディアを通じた情報発信は、本学が取り組む諸活動をステークホルダーに対して正しく伝えるとともに、社会全般に対して説明責任を果たす重要な手段のひとつである。社会からの支持基盤を確固たるものとするために、京都や滋賀といった地元の記者クラブだけでなく、大阪や首都圏のメディア関係者との懇談の場を広げ、マスコミ各社とのネットワークを拡充させ、信頼関係の構築に努めていく。

2 大学Webサイトの充実

●大学Webサイトリニューアルの実施

今日、大学Webサイトは、ステークホルダーとのコミュニケーションツールとして、また大学からの情報発信媒体として重要な手段として認知されている。他方で、Webサイトに関する情報技術が日々発達しており、利用ニーズも刻々と変化している。このような現状を踏まえ、

創立370周年を迎える今年度は、本学の新しいブランドイメージ形成に向け、大学Webサイトを全面リニューアルし、双方向性を活かした新たなサイトの構築を目指す。

3 広報誌等の発行

●広報誌「龍谷」

「龍谷」は、主に卒業生や在学生の保護者などを対象に発行している広報誌である。学生や教員、卒業生など本学関係者の活躍だけでなく、大学の教育理念や長期計画など、大学の経営方針や活動をステークホルダーに伝える媒体として位置付けている。創立370周年を迎える今年度は、新たなブランドイメージ形成に向け、誌面デザインを一新し、370周年記念事業を積極的にPRするとともに、本学のさらなる発展に向けた取り組みなどを訴求していく。

●広報誌「龍谷（学内版）」

「龍谷（学内版）」は、主に保護者を対象に発行している広報誌である。本学にとって重要なステークホルダーである保護者に対して、本学の財政状況や事業計画・実績を伝えるとともに、メディアで報道された本学の活動内容等を紹介する。保護者に対する説明責任を果たす媒体として、わかりやすい誌面づくりをめざしていく。

●XR（クロス＊アール）

「XR（クロス＊アール）」は、主に在学生を対象に発行している学生情報誌である。大学の魅力や大学の様々な活動を分かりやすく伝えるため、学生広報スタッフが自分た

1 マスメディアの活用

3年目を迎える今年度は、積極的に学外取材に出かけ、卒業生や社会で活躍する方の話を紹介するなど、誌面のさらなる充実に努める。

●倶楽部りゅうこく通信

「倶楽部りゅうこく通信」は、主に本学卒業生を対象にしたメールマガジンである。本メールマガジンは卒業生との重要なコミュニケーションツールとしての役割を担っていることから、今年度は、より多くの卒業生に登録してもらえよう校友会等と連携を図りながら内容のさらなる充実に努める。

4 広告の掲出

●広告展開

雑誌をはじめ、新聞やインターネット、電波媒体、交通広告など各媒体の特性を活かした広告を掲出する。また、広報活動と連動した効率的な広告展開を図り、大学として統一したイメージを訴求するとともに、370周年記念事業等の周知に努める。

5 その他の広報活動

●青春俳句大賞の実施

青春俳句大賞は、本学の文化事業の一環として実施するもので、今年で7回目を迎える。これまでどおり中学生、高校生を主な対象として俳句を募集するが、370周年記念

事業として実施する今年度は、応募総数10万句を目指す。本事業を授業で活用している事例等を中学校、高等学校に紹介し、団体応募を積極的によびかける。

● 学生広報スタッフの強化

学生広報スタッフは、大学の広報活動の一翼を担い、学生情報誌「XR（クロス＊アール）」の制作等を行っている。今年度は、「自ら考え行動する学生の育成」をテーマに、

学外機関と連携を図り、学生広報スタッフの強化プログラムを新たにスタートさせる。プログラムでは、社会の動きを読み解く力の育成に力点を置くとともに、社会人として将来求められる企画力やコミュニケーション能力、交渉力等の醸成をめざし、新聞の読み方や学外有識者による講演、広告の自主制作、インターンシップなどの実践的な内容展開を図る予定である。